



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場会社名 櫻護謨株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5189 URL http://www.sakura-rubber.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 浩士
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 中野 伍朗 (TEL) 03-3466-2171
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,200	△10.3	567	8.6	540	1.8	345	△18.2
28年3月期第3四半期	6,911	0.8	523	△24.2	530	△19.6	422	△2.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 399百万円(△8.8%) 28年3月期第3四半期 438百万円(△7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	35.11	—
28年3月期第3四半期	42.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	12,022	5,707	47.5
28年3月期	12,892	5,357	41.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 5,707百万円 28年3月期 5,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年 3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年 3月期	—	0.00	—	—	—
29年 3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	△6.2	860	0.5	810	△7.4	500	△16.9	50.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	10,120,000株	28年3月期	10,120,000株
29年3月期3Q	277,330株	28年3月期	276,530株
29年3月期3Q	9,843,423株	28年3月期3Q	9,875,757株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ

「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書(第3四半期連結累計期間)	7
四半期連結包括利益計算書(第3四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の好転や企業収益の改善がみられるものの、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念、英国のEU離脱問題、米国新政権の政策動向の影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループといたしましては、引き続き国内外の新規市場並びに新規顧客の開拓、新事業の展開、既存事業の掘り起しなどの積極的な営業活動と、付加価値の高い製品の企画・開発、コスト削減活動および生産効率の向上などの努力をいたしました。

その結果として、売上高は62億円（前年同期比10.3%減）、営業利益5億6千7百万円（前年同期比8.6%増）、経常利益5億4千万円（前年同期比1.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億4千5百万円（前年同期比18.2%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<消防・防災事業>

消防・防災事業では、3年目となる消火栓ホースの交換需要の減退および官公庁向け防災資機材の販売減により、売上高は22億3百万円（前年同期比27.1%減）、セグメント損失（営業損失）は2千1百万円（前年同期はセグメント利益1億3千7百万円）となりました。

<航空・宇宙、工業用品事業>

航空・宇宙部門では、民間航空機向けV2500エンジン部品の販売の減少、民間機向けゴムシールが端境期に入るなどの減少要因があったものの、P-1/C-2などの大型機向け部品やF7-10エンジン部品、H-2向けなどのロケット部品は堅調に推移いたしました。工業用品部門では、消防法改正に伴う平成29年度までのタンク耐震化更新工事に減少の兆しが出始め、タンクシールの販売は減少しました。一方、子会社である櫻テクノ株式会社のインフラ向け防水工事などは堅調に推移しました。

その結果、航空・宇宙、工業用品事業の売上高は36億2千9百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益（営業利益）は7億3百万円（前年同期比33.8%増）となりました。

<不動産賃貸事業>

不動産賃貸事業は、売上高は3億6千8百万円（前年同期比1.6%増）と底堅く推移し、前第1四半期に発生した笹塚商業施設リニューアル工事に関する修繕費の影響がなくなったことにより、セグメント利益（営業利益）は1億1百万円（前年同期比72.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間における流動資産は79億7千2百万円（前連結会計年度末比8億4千7百万円減）となりました。主として、たな卸資産が4億2千1百万円増加した一方、現金及び預金が3億9千3百万円、売上債権回収により受取手形及び売掛金が8億6千3百万円それぞれ減少したことによるものです。また、固定資産は40億4千9百万円（前連結会計年度末比2千1百万円減）となりました。

この結果、資産合計は120億2千2百万円（前連結会計年度末比8億6千9百万円減）となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間における流動負債は41億4千3百万円（前連結会計年度末11億9千8百万円減）となりました。主として、支払手形及び買掛金が6億6千2百万円、未払法人税等が1億9千5百万円それぞれ減少したことによるものです。また、固定負債は社債及び長期借入金が5千9百万円減少し、21億7千1百万円（前連結会計年度末比2千1百万円減）となりました。

この結果、負債合計は63億1千5百万円（前連結会計年度末比12億1千9百万円減）となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間における純資産は57億7百万円（前連結会計年度末比3億5千万円増）となりました。主として、親会社株主に帰属する四半期純利益3億4千5百万円による増加と剰余金の処分4千9百万円による減少が要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては平成28年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想の内容に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、平成28年9月28日に労働安全機器及びその他関連用品の輸入・販売、並びにそれらの保守点検会社として、日本エス・エイ・エス株式会社を設立しております。同社については、第2四半期連結会計期間は開業準備中のため非連結子会社としておりましたが、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

この結果、平成28年12月31日現在、当社グループは、当社及び連結子会社5社により構成されております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第3四半期連結累計期間
(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

当第3四半期連結累計期間
(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,283,654	1,890,338
受取手形及び売掛金	4,124,278	3,260,948
商品及び製品	80,446	192,389
半製品	442,746	560,572
仕掛品	1,136,954	1,277,470
原材料及び貯蔵品	599,626	651,212
その他	159,122	145,248
貸倒引当金	△6,232	△5,283
流動資産合計	8,820,598	7,972,898
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,885,187	1,840,346
土地	1,304,211	1,304,211
その他（純額）	370,423	350,048
有形固定資産合計	3,559,821	3,494,606
無形固定資産	16,627	15,397
投資その他の資産		
投資有価証券	236,874	287,608
その他	258,760	252,597
貸倒引当金	△238	△238
投資その他の資産合計	495,396	539,967
固定資産合計	4,071,845	4,049,971
資産合計	12,892,443	12,022,869

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,774,447	1,112,364
短期借入金	1,495,000	1,410,000
1年内償還予定の社債	164,000	47,000
1年内返済予定の長期借入金	769,800	806,320
未払法人税等	203,323	7,904
賞与引当金	234,210	115,876
役員賞与引当金	80,000	62,253
その他	621,379	582,086
流動負債合計	5,342,159	4,143,804
固定負債		
社債	236,000	220,000
長期借入金	935,307	891,915
役員退職慰労引当金	233,346	244,073
退職給付に係る負債	510,074	515,224
資産除去債務	11,209	11,403
その他	267,108	289,001
固定負債合計	2,193,045	2,171,618
負債合計	7,535,205	6,315,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	285,430	285,430
利益剰余金	4,800,796	5,097,134
自己株式	△83,905	△84,232
株主資本合計	5,508,321	5,804,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,490	91,504
退職給付に係る調整累計額	△206,572	△188,390
その他の包括利益累計額合計	△151,082	△96,885
純資産合計	5,357,238	5,707,446
負債純資産合計	12,892,443	12,022,869

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	6,911,049	6,200,484
売上原価	5,141,792	4,392,989
売上総利益	1,769,256	1,807,494
販売費及び一般管理費	1,246,150	1,239,609
営業利益	523,105	567,885
営業外収益		
受取利息	116	48
受取配当金	6,921	6,711
受取地代家賃	8,136	8,158
受取保険金	31,653	-
貸倒引当金戻入額	454	949
その他	5,157	3,269
営業外収益合計	52,439	19,137
営業外費用		
支払利息	35,312	37,151
社債利息	2,313	1,770
為替差損	663	538
その他	6,516	7,230
営業外費用合計	44,806	46,691
経常利益	530,739	540,331
特別利益		
固定資産売却益	-	4,160
投資有価証券売却益	-	165
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	141,765	-
特別利益合計	141,765	4,326
特別損失		
固定資産除却損	3,263	1,419
特別損失合計	3,263	1,419
税金等調整前四半期純利益	669,241	543,237
法人税、住民税及び事業税	140,527	158,263
法人税等調整額	106,379	39,417
法人税等合計	246,906	197,681
四半期純利益	422,334	345,555
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	422,334	345,555

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	422,334	345,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,704	36,013
退職給付に係る調整額	11,058	18,182
その他の包括利益合計	15,762	54,196
四半期包括利益	438,097	399,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	438,097	399,752
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,022,533	3,526,033	362,482	6,911,049	—	6,911,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	4,950	4,950	△4,950	—
計	3,022,533	3,526,033	367,432	6,915,999	△4,950	6,911,049
セグメント利益	137,537	525,385	58,559	721,481	△198,375	523,105

- (注) 1 セグメント利益の調整額△198,375千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,203,085	3,629,262	368,136	6,200,484	—	6,200,484
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	5,844	5,844	△5,844	—
計	2,203,085	3,629,262	373,980	6,206,328	△5,844	6,200,484
セグメント利益又は損失(△)	△21,335	703,088	101,188	782,942	△215,056	567,885

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△215,056千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。